

■ イベント開催状況

’12男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ

『さあ、共生の社会へ ともに歩きだそう』

平成24年10月8日(火)岩見沢平安閣において、「いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議」の主催により、男女共同参画市民フォーラムが開催されました。

本年度は、テレビでもおなじみの弁護士 菊地 幸夫(きくち ゆきお)先生を講師としてお迎えし、人との出会いにより得たことについてお話をいただきました。

講演の前には、北海道教育大学岩見沢校音楽コースの皆さんによる、弦楽四重奏のオープニングコンサートを行いました。

■ オープニングコンサート

バイオリン・ビオラ・チェロによる演奏が行われ、アニメ映画「となりのトトロ」の曲から、本格的なクラシックまで多彩な曲目で場内を魅了しました。優しく心に響くメロディが、次の講演へと期待をつなげてくれました。



■ 新市長を迎えて

開催日の9日前に就任された松野市長が、挨拶をされました。

日本一元気な街岩見沢にしていきたいと考えているが、人口の半分以上は女性であることから見ても女性の役割は非常に大切であり、女性の能力・経験を街づくりや仕事に活かしていくことが、日本全体、ひいては岩見沢市における活力の源になってくると認識しているとの力強い挨拶でした。



■ 講演「出会いの人生から学んだこと」

◆ お互いに自立し、お互いを尊重するのが「共生」

自身が監督を務める地元の小学生バレーボールチームでの経験から得たことについてお話いただきました。

年齢や性別に関係なく、自分が一人の人間という認識を持って精神的に自立し、飾らない素の自分で一対一のコミュニケーションをとれるようになることが「共生」への第一歩であるとのことでした。

そのためには仕事ばかりに重きを置くのではなく、地域での役割を見つけることが大切であり、難しく考えずにボランティアや地域活動に参加して色々な人とコミュニケーションを取ることで、男性や女性ということにとらわれない、彩り豊かな生活ができるのではないかと提案されました。



☆フォーラム参加者の声

○誰に対しても自分の考えをはっきりと訴える様な自分のスタイルをもつ事が大切、本当にそう思いました。【女性】

○娘が小学生でバレーボールチームに所属しています。思い当たるところばかりでうなずきながら「あるある…」と思い、とても楽しく聞かせて頂きました。菊地弁護士が身近に感じられ、今後もテレビでの活躍を期待しています。【女性】

○菊地さんの話を聞くために参加したが、期待通りでよかった。【男性】

○わかりやすい語り口ですばらしい。男だから女だから大人だから子どもだからではなく、相手を尊重するという人間性こそが大切とのお話に感動しました。いじめもなくなるのでは。【女性】

